12月 木曜教室ご案内

（公社）熊本法人会
TEL ３５３－２５５５

急増する

事例中心だから よく分かる

社員の休業・休職・退職を巡る ルールとトラブル防止実務対策

契約した日に働くことが労働契約ですが、休まざるを得ない事情もあることから、育児や介護のための休業、精神疾患による休職など、法律や就業規則によって、休んでもよい日が定められています。近年、さまざまな事由で長期にわたって休業する社員が増えていますが、どこまでが法的に必要なしくみか曖昧なまま運用していませんか。また、認められた範囲で復帰できなければ退職せざるを得ませんが、上手く退職させられる仕組みになっていますか。このほかにも、雇用形態の多様化に伴い、退職のトラブルは増えています。本セミナーではこのようなことに適切に対応し、未然にトラブルを防ぐことができるよう法的な知識を踏まえ、企業防衛の視点からのルール作りについて解説します。皆さま多数ご参加ください。

＊ 日　　時　令和5年 **１２** 月 **２１** 日（木）　13:30 ～ 16:30

＊ 場　　所　**くまもと県民交流館パレア　会議室１**　［テトリアくまもとビル（鶴屋百貨店東館10F）］

＊ 講　　師　（株）人事サポートプラスワン　代表取締役　**松 本 健 吾** 氏（経営士）

＊ 受 講 料　**無 料**（但し、非会員は1名につき4，000円）

満席の場合のみ、折り返しご連絡致します。
予めご了承ください。

＊ 講座内容

休業編

1．必要な休業の種類とその概要
- 1）休暇・休業・休職の違いは？
- 2）ケガや病気で長期にわたり休むとき
- 3）傷病手当金と休業補償給付金
- 4）介護休業のあらましと実務

2．妊娠・出産・育児の実務対応
- 1）妊娠・出産・育児に関する制度
- 2）休業中の社会保険料と健保給付
- 3）育児休業給付と延長のしくみ
- 4）忘れると損する復職後の手続き
- 5）子育ての措置と管理職の適用除外

休職編

1．休職の意味と上手なしくみ作り
- 1）休職の意味を理解しよう
- 2）休職制度の作り方のポイント
- 3）休職命令の可否と解雇の可否
- 4）ストレスチェックとメンタルヘルスケア

2．復職の判断とその後の制度
- 1）休職中の報告と復職の判断
- 2）職場復帰支援とリハビリ勤務の際の実務
- 3）休職期間満了時の失業保険

退職編

1．契約期間満了の正しい取扱い
- 1）なぜ労働契約の期間を定めるのか
- 2）契約期間の有無と不合理の禁止
- 3）有期労働契約の更新と雇止めの基準
- 4）反復更新と無期労働契約への転換

2．解雇にまつわるルール
- 1）懲戒解雇と普通解雇の違いとは
- 2）試用期間による本採用の拒否
- 3）勤務成績不良などで解雇した事例
- 4）定年後の再雇用拒否と解雇

＊ 定 員　８０名（予定）

※ 下記をご記入の上、**12/8（金）までに**FAXを頂きますようお願いいたします。なお、**当日受付にご提出**下さい。

申込み先 FAX　３５３－２５５６

令和５年１２月　木曜教室申込書／当日出席票　HP			
会社名		TEL	
所在地		FAX	
お名前 フルネームを記入（出席者）		申込計	名